

トラックに関する事故を未然に防ぐため道路管理者と警察が合同で

## 『違法トラックの取締り』を実施します

近年、車両の大型化により、過積載等が原因と思われるトラックによる交通事故が依然多く、後を絶たない状況にあります。

過積載はブレーキ性能の低下や荷崩れにより重大事故を誘発するとともに、道路及び橋梁等道路施設の損傷の一因となっていることから、事故を未然に防止する対策として、下記のとおり実施します。

- 道路管理者による特殊車両を対象とした道路法による取締り
- 警察による過積載を対象とした道路交通法による取締り

**この度、道路管理者と警察が合同で、主にトラックを対象とした取締りを村上市の国道7号朝日除雪ステーションにて実施します。**

□取締日時：平成22年8月24日（火）14時～16時（小雨決行）

□取締場所：国道7号朝日除雪ステーション（村上市宮ノ下地先）

※羽越河川国道事務所管内では、今年度最初の取締りとなります。



<過去の取締りの様子>



### 同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
新潟日報社（村上支局）  
村上新聞社  
いわふね新聞社

### 問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 羽越河川国道事務所  
副所長（道路） 石田 孝志  
道路管理課長 丸山 良一  
TEL：0254-62-3211（代）  
新潟県 村上警察署  
交通課長 小泉 衛  
TEL：0254-52-0110（代）

## ◎ 道路法に基づく車両の制限

道路は一定の構造基準により造られています。そのため、道路法では道路の構造を守り、交通の危険を防ぐため、道路を通行する車両の大きさや重さの最高限度を次のとおり定めています。この最高限度のことを「一般的制限値」といいます。(道路法第47条1項、車両制限令第3条)

車両の諸元		一般的制限値(最高限度)
幅		2.5メートル
長さ		12.0メートル
高さ		3.8メートル(高さ指定道路は4.1メートル)
重さ	総重量	20.0トン(重さ指定道路は25.0トン)
	軸量	10.0トン
	隣接軸量	○隣り合う車軸の軸距が1.8メートル未満 18.0トン (ただし、隣り合う車軸の軸距が1.3メートル以上、かつ隣り合う車軸の軸重がいずれも9.5トン以下のときは19トン) ○隣り合う車軸の軸距が1.8メートル以上 20.0トン
	輪荷重	5.0トン
最小回転半径		12.0メートル



これらの制限値を1つでも超える車両は「通行許可」が必要です！

## ◎ ルール違反の車両が道路に及ぼす影響

道路が傷められる原因には、定められたルールを守らず通行すること等があげられ、このルール違反の車両が非常に大きな比率を占めている状況にあります。また、ルール違反の車両が沿道環境に与える影響も大きなものとなっています。特に重量超過車両が道路の構造に与える影響は、非常に大きなものがあります。

橋梁床版に与える影響は、トレーラー(5軸)の重量が2倍になると、20tのトラック(3軸)の交通量が約4,000倍になった場合と同程度です。



舗装のひび割れ



舗装のわだち掘れ



橋の裏面の様子

